

青梅市移住・定住促進プランについて

1 プラン策定の背景と目的

全国的に少子・高齢化に伴う人口減少が進むなか、青梅市においても例外ではなく、ピーク時の平成17年には14.2万人であった人口が、令和3年6月末には13.2万人を割って、15年間で1万人の減となり、人口減少に歯止めがかからない現状となっている。

そのようななか、まちの持続的な発展を目指し、人口減少の抑制を図るとともに、青梅市の豊かな地域資源を活かし移住希望者を呼び込むような移住・定住促進施策を展開していくため、「青梅市移住・定住促進プラン」を策定する。

2 プランの位置づけ

本プランは、令和元年度に策定された「第2期青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を上位計画とし、本市における人口減少対策、定住促進に関わる施策を位置づけるもの。

3 計画期間

令和4年度から令和6年度まで（3か年）

4 体制

庁内において横断的に協議する必要があることから「青梅市移住・定住促進庁内検討委員会」を設置。

また、他自治体から移住し現在市民となっている方、有識者などの意見を幅広く取り入れることを目的として、「青梅市移住・定住促進プラン策定懇談会」を設置し、年4回程度開催予定。